



Fast forward microdissection!

Use innovative DIRECTOR™ Laser Microdissection Slides to call the shots with new speed and ease.

DIRECTOR™ レーザーマイクロダイセクションスライド

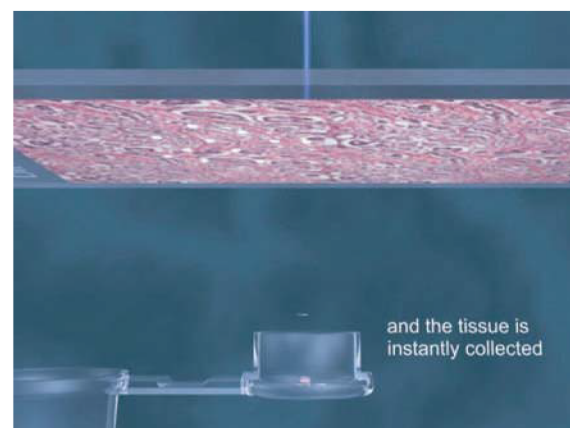
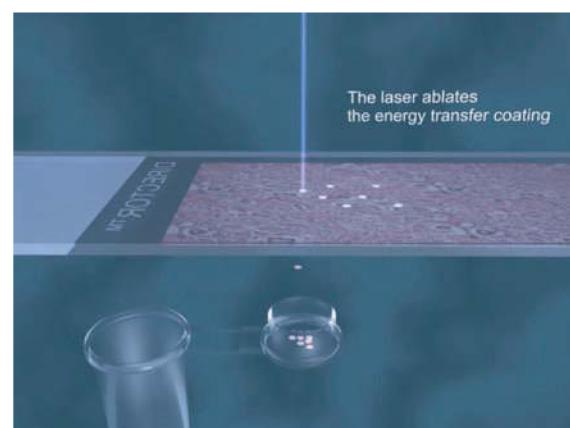
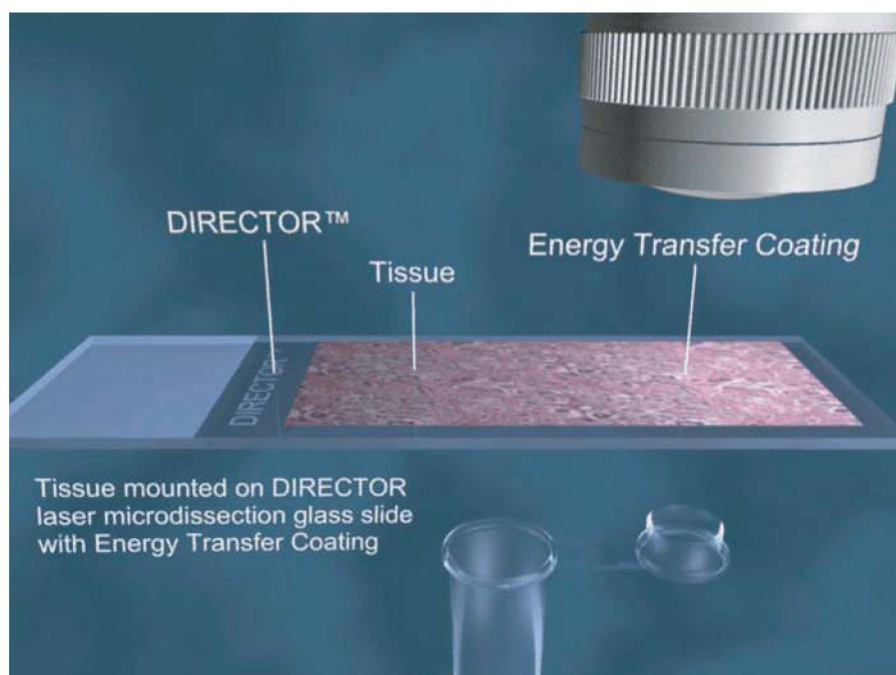
組織切片から素早くコンタミフリーにサンプル回収—直接試薬へダイセクション

Leica LMD レーザーマイクロダイセクションシステム用に開発された DIRECTOR™ レーザーマイクロダイセクションスライドを使えば、高い精度を必要とする組織サンプル回収がいままでにない速度で簡単に行えます。(Leica LMD6000 の場合最小幅 1 μm ~ 2 μm まで可能)

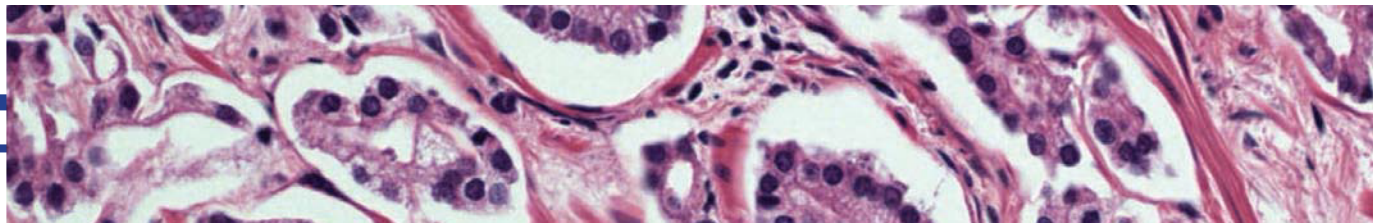
DIRECTOR™ はプラスチックメンブレン（フォイル）や粘着キャップを必要としない、本当の意味での“ノンコンタクト” レーザーマイクロダイセクションスライドです。

ガラスの表面に施されたエネルギートランスファーコーティングによって、レーザーエネルギーは運動エネルギーに変換され、サンプルを直接チューブに回収します。

ホルマリン固定パラフィン包埋 (FFPE) 組織切片を使用したプロテオーム解析を初めて可能にする、**Liquid Tissue™ Protein Prep キット**も併せてご利用下さい。



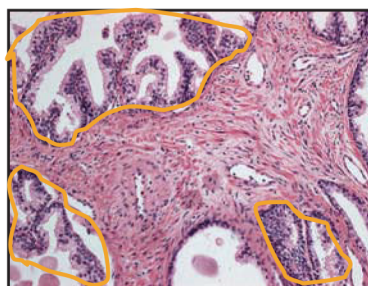
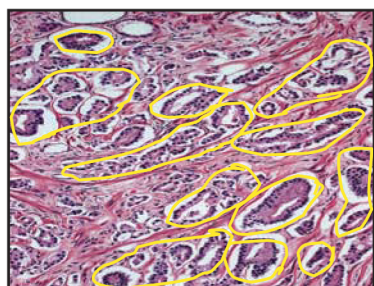
Expression Pathology



DIRECTOR™ Laser Microdissection Slides

DIRECTOR™ レーザーマイクロダイセクションスライドは、Leica LMD レーザーマイクロダイセクションシステムや一般的な遺伝子発現 / タンパク質分析アプリケーションすべてに対応します。

ホルマリンやエタノールで固定された組織や新鮮な凍結組織の切片をピンポイントにダイセクトすることができます。



ユニークなエネルギー転スファークーティングがガラス表面にほどこされており、レーザーが当たった瞬間に蒸発（融解）することでその部分の組織を直接採取チューブに落とし込みます。エネルギー転移層（クーティング）がすべてのレーザーエネルギーを吸収するため、サンプル内の生体分子に影響を及ぼすことはありません。また、その際エネルギー転移層は完全に消滅するので、サンプルがクーティングによってコンタミネートされることもありません。

エネルギー転スファークーティングはあらゆる化学的・温熱条件に対し完全に不活性です。スライドをオートクレーブ処理や UV 照射で滅菌したり、ガスによる化学滅菌を行っても問題ありません。キシレンやアルコールなどの有機溶媒中でも安定しています。

DIRECTOR™ スライドは透明で、プラスチックフィルムのように自家蛍光を生じたり光の屈折を変えたりすることがないため、様々な観察法にお使いいただけます。一般的な病理用スライドのように、組織切片は前処理の必要なく付着させることができます。

DIRECTOR™ スライドのサイズは一般的な病理用スライドと同様に、76 mm × 25 mm です。エネルギー転移クーティングはスライドの片側にほどこされており、組織や生体材料は直接その上にのせます。クーティング側はサンドブラスト仕上げがしてありますので、向きの確認も容易です。



*A fast, easy new way
to call the shots!*

ORDERING INFORMATION

品番	品名	定価
50001-024	DIRECTOR™ Laser Microdissection Slides, 50 枚	¥ 250,000